

支える人の学びの場

先生のための

こころ塾 2015

2015. 10.17 (土)、10.24 (土)、11.7 (土)

各日とも 10:00～17:00 まで (受付開始 9:30～)

京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室

現代の社会には、人を支えることを仕事としている人たちがたくさんいます。中でも、教育や医療の現場で働く人たちは、子どもやお年寄り、病気の人や身体の不自由な人たちが安心して暮らせる社会の、一番の担い手でもあります。そして、支える人たち自身も元気で健やかに毎日を過ごせることが、私たちのめざす日本社会の姿ではないかと考えます。京都大学こころの未来研究センターでは、こうした考えのもとで「支える人たちが元気になる学びの場」を作ることを発想し、2013年から「こころ塾」を開講しています。先生のためのこころ塾2015は、3日間コースで実施します。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

定員：100名 (申込による先着順) ※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

参加資格：◇学校教員および教育関係の仕事に就いている方  
◇3日間全日参加できる方

情報交換会費：1,000円 × 3日 (初日に集めます)

主催：京都大学こころの未来研究センター

共催：京都大学医学研究科 脳機能リハビリテーション学分野 発達障害系研究室



京都大学 KOKORO RESEARCH CENTER • KYOTO UNIVERSITY

こころの未来研究センター

プログラム

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～12:00 講義① 乾敏郎 (追手門学院大学心理学部・教授／京都大学・名誉教授)
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:30 講義② ゲスト講師
- 14:40～15:20 実践報告
- 15:30～16:00 グループディスカッション
- 16:00～17:00 講師とのQ&A

10月17日(土)

- 『円滑なコミュニケーションを支える脳機構』  
乾敏郎 (追手門学院大学心理学部・教授／京都大学・名誉教授)
- 『「社会性」という観点から心の健康について考える』  
村井俊哉 (京都大学医学研究科・教授)
- 実践報告 小川詩乃 (京都大学人間・環境学研究科・日本学術振興会特別研究員PD)  
田村綾菜 (愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所・リサーチレジデント)

10月24日(土)

- 『認知機能の発達とその脳内機構』  
乾敏郎 (追手門学院大学心理学部・教授／京都大学・名誉教授)
- 『子どもたちの心を縛るもの:「イツメン(いつものメンバー)」と「ぼっち」から考える』  
岩宮恵子 (島根大学教育学部・教授・臨床心理士)
- 実践報告 加藤寿宏 (京都大学医学研究科・准教授・作業療法士)

11月7日(土)

- 『体で学ぶ神経機構:潜在学習』  
乾敏郎 (追手門学院大学心理学部・教授／京都大学・名誉教授)
- 『笑顔・考える・つながる授業づくりー目からウロコの教材・教具ー』  
村上公也 (キミヤーズ塾・塾長)
- 実践報告 高畑脩平 (奈良県総合リハビリテーションセンター・作業療法士)



京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室  
(京都市左京区吉田下阿達町46 [川端近衛南東角])  
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/about/access.html>

申し込み方法

E-mailでお申し込みください。件名に「こころ塾2015教員申込」と明記し、必要事項を記入のうえ、お送りください。

必要事項

- ①氏名(ふりがな) ②所属先 ③経年数
  - ④返信用メールアドレス ⑤受講動機・受講のきっかけ
  - ⑥こころ塾で学びたいこと・講師への質問など
- ※⑤⑥は簡単にご記入いただければ結構です。  
※受信後、こちらから受付のメールをお送りいたしますので、下記アドレスからメールが受け取れるよう受信設定をお願いいたします。

連絡先/申込先

京都大学こころの未来研究センター  
リエゾンオフィス(平日9時～17時)

E-mail: [kokoro-t@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kokoro-t@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

